

学びの多様化学校 設置に向けて

第1回 おつ市学びの多様化学校設置検討委員会



おつ市教育委員会


本日よりご意見いただきたいこと

学びの多様化学校の教育課程の
方針について

転入学について

持続可能な学校運営のために

本日のご説明

- 1 学びの多様化学校の概要
 - 2 教育課程の方針
 - 3 転入学について
 - 4 学びの多様化学校のハード面
 - 5 持続可能な学校運営のために
- 

学びの多様化学校の概要

Topic 1

学びの多様化学校設置事業

県内
初



小学校・中学校併設
学びの多様化学校として新設

学校名 未定

むつ市立〇〇小学校・〇〇中学校
(通称) むつ〇〇〇学園

開校

令和9年4月1日(予定)

入学式

4月中旬を予定

配置された教職員の研修を
十分行った上で受入

対象

- ・むつ市内に居住している者
- ・小1～中3の児童生徒
- ・不登校の児童生徒

校舎について



住所

むつ市大字奥内字中野40

アクセス

市役所から13km 20分

- 大畑庁舎から 27km 33分
- 川内小・中から37km 50分
- 脇野沢小中から54km 75分



開校予定場所

奥内小学校 閉校後の学校を活用

区域外

- 東通村から 21km 24分
- 風間浦村から 48km 57分
- 大間町から 58km 70分
- 佐井村から 70km 85分
- 横浜町から 15km 18分

入学・転学の対象者（案）

むつ市在住の小学校1学年～中学校3学年児童生徒

※区域外就学については、検討が必要（ご意見をいただきたい）

不登校状態もしくは不登校傾向にあること

病気や経済的な理由を除いた年間30日以上の欠席もしくは不登校傾向にあるまたは不登校になる恐れが認められる者

児童生徒・保護者両方に入学・転学の意欲がある

上記3条件を満たした児童生徒を就学委員会で審議する

学びの多様化学校の定員

定員

少人数の学びが可能となる定員を想定している

	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
人数	8		8		8		10	10	10
合計	24						30		
	54								

教職員

R7県小・中学校教職員配置基準を参考に算出したもの

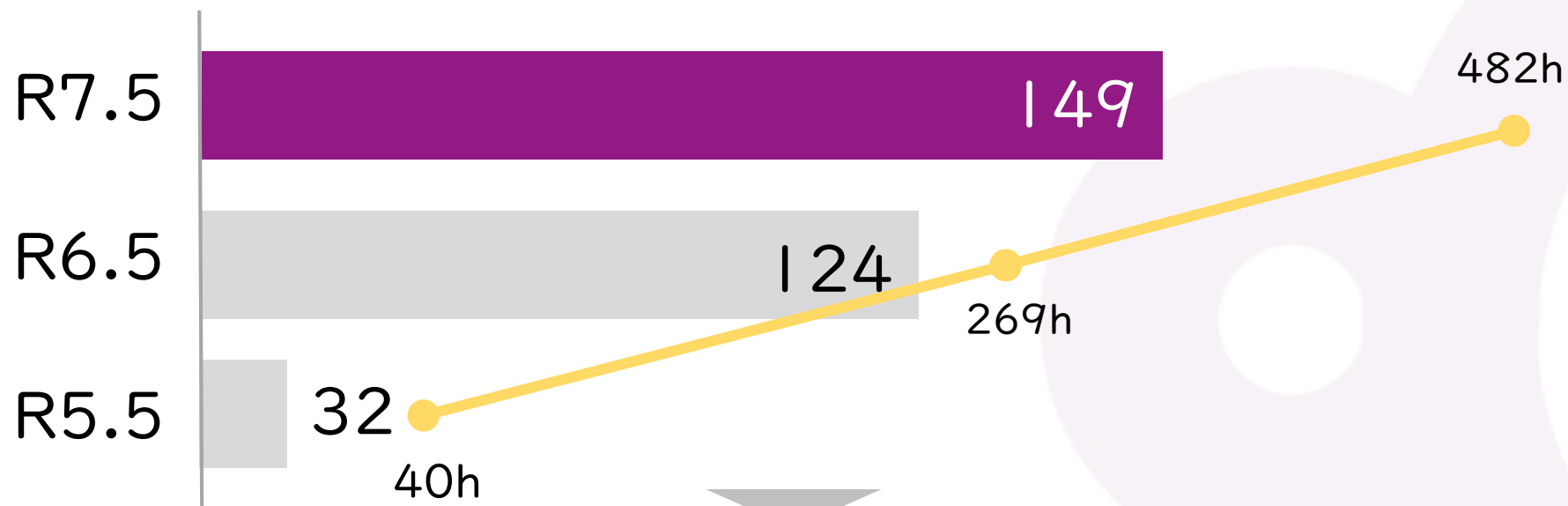
	県費負担教職員					市職員（会計年度）		
	校長	教頭	教員	養護教諭	事務職員	小中一貫支援員	小中一貫SC	用務員
人数	1	小1 中1	小3 中6	1	1	4	1	1
合計	14					6		

※小中併置校、学びの多様化に係る加配の可能性もある

教育支援センターの利用状況

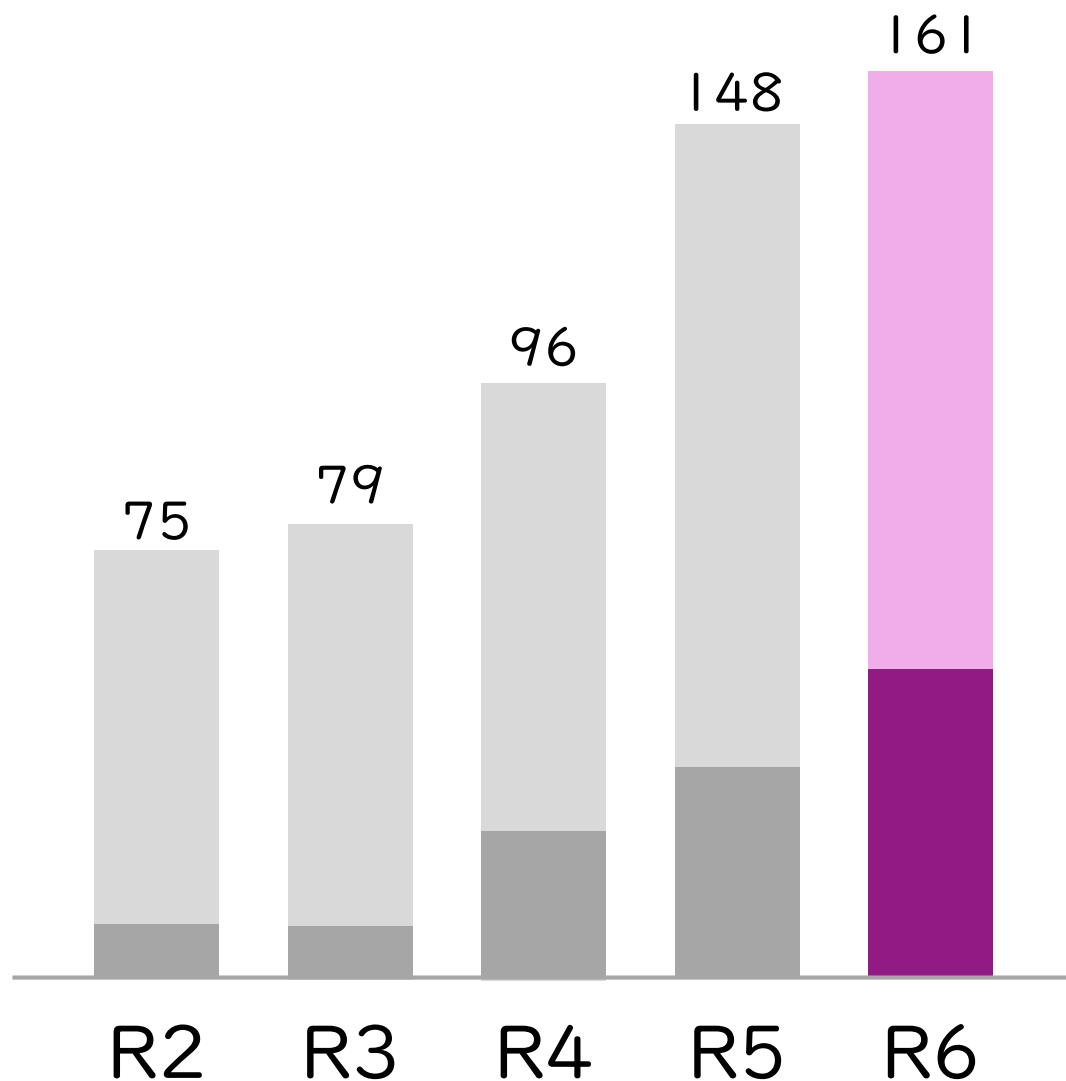


5月の延人数・利用時間の比較



	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
人数	0	1	1	1	0	0	11	5	14
合計	3						30		

むつ市不登校の推移



令和6年度

小学校の新規不登校児童**増加**

不登校児童の若年化
問題の長期化 対応に苦慮

中学校の新規不登校生徒**減少**

不登校の取組が推進
対応、支援のスキルを横展開

教育支援センター

令和8年度中に移転



在籍校への学校復帰
教育相談の充実

メタバース教育支援センター



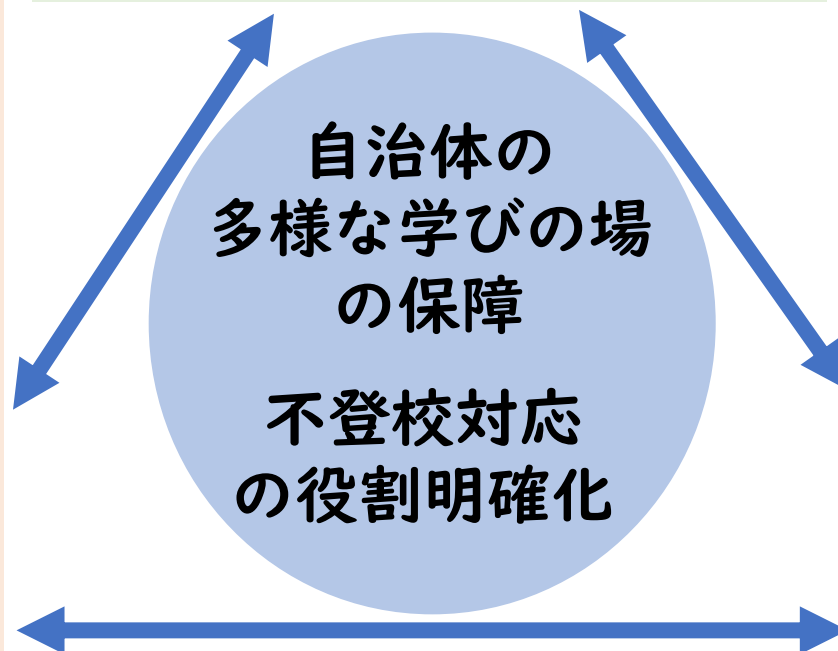
誰かと
つながる
きっかけ
づくり

小・中学校

令和7～9年度 環境整備



魅力ある学校づくり
校内支援センター設置



むつ市の 多様な学びの場 全体図

学びの多様化学校

令和9年4月開校予定



学校らしくない学校
この「学校」には通える
少人数なら学べる

教育課程の方針

Topic 2

教育課程の方針

■ ゆったりとした 授業時数

1015 ▶ 770時間

4時間学習

■ チーム担任制

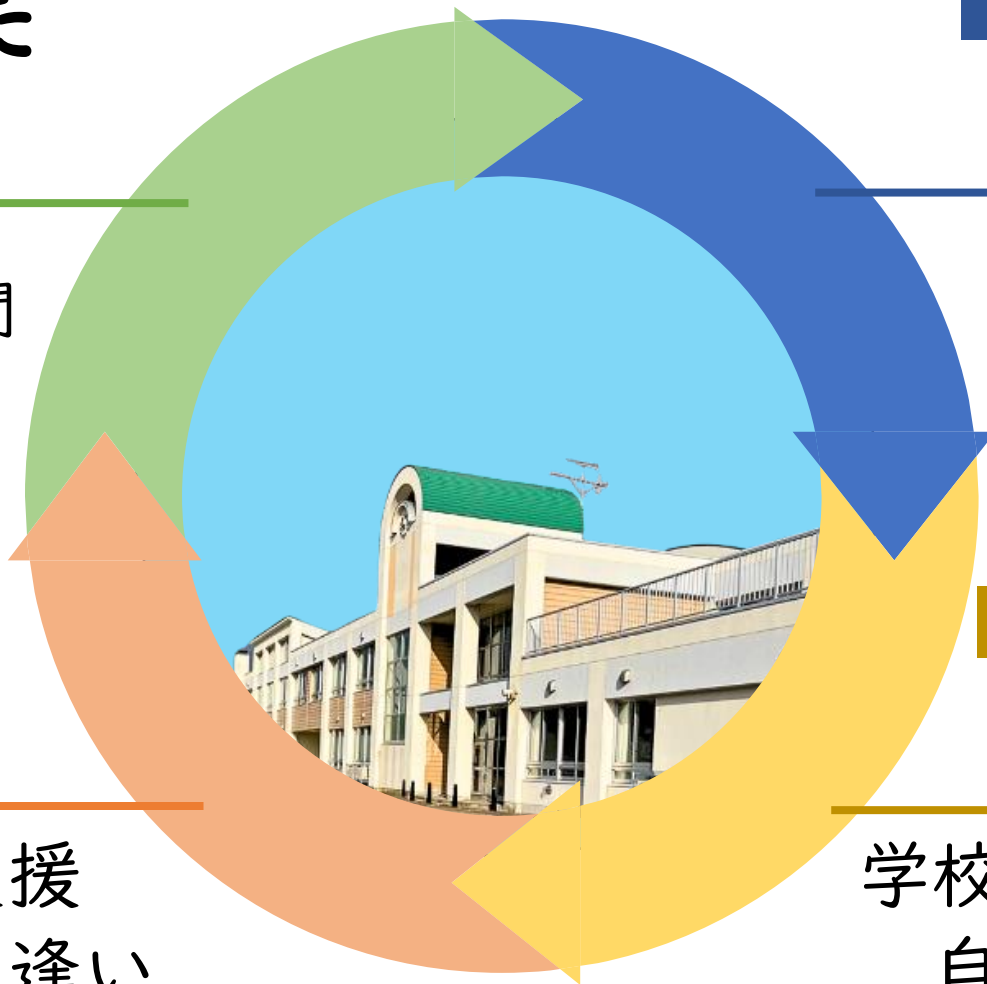
こどもをみんなで支援
多様な価値観との出逢い

■ ゆったりとした 登下校時刻

9:30出校 14:30下校
元在籍校の児童生徒と
鉢合わせない配慮

■ えらぶ・きめる 学習の場・時間

学校・自宅での学習が可能
自分にあわせた活動時間



教育課程の方針

■ ゆったりとした 授業時数

1015 ▶ 770時間

4時間学習

■ チーム担任制

こどもをみんなで支援
多様な価値観との出逢い

■ ゆったりとした 登下校時刻

9:30出校 14:30下校
元在籍校の児童生徒と
鉢合わせない配慮

■ えらぶ・きめる 学習の場・時間

学校・自宅での学習が可能
自分にあわせた活動時間



時間割・週時程イメージ (案)

時程	時間	月	火	水	木	金	
9:30 登校							
Warm-UP	9:30-9:45	15	つどい・かたり				
1	9:50-10:35	45	国語	数学	国語	数学	国語
2	10:40-11:25	45	理科	社会	数学	社会	理科
3	11:30-12:15	45	体育	外国語	体育	外国語	体育
昼	12:15-13:15	60	ランチタイム・昼休み				
4	13:20-14:05	45	きわめる	ものづくり	まなびなおし	きわめる	ものづくり
Cool-Down	14:05-14:20	15	まなびなおし	ものづくり	まなびなおし	きわめる	まなびなおし
14:30 下校							

教育課程の方針

■ ゆったりとした 授業時数

1015 ▶ 770時間

4時間学習

■ チーム担任制

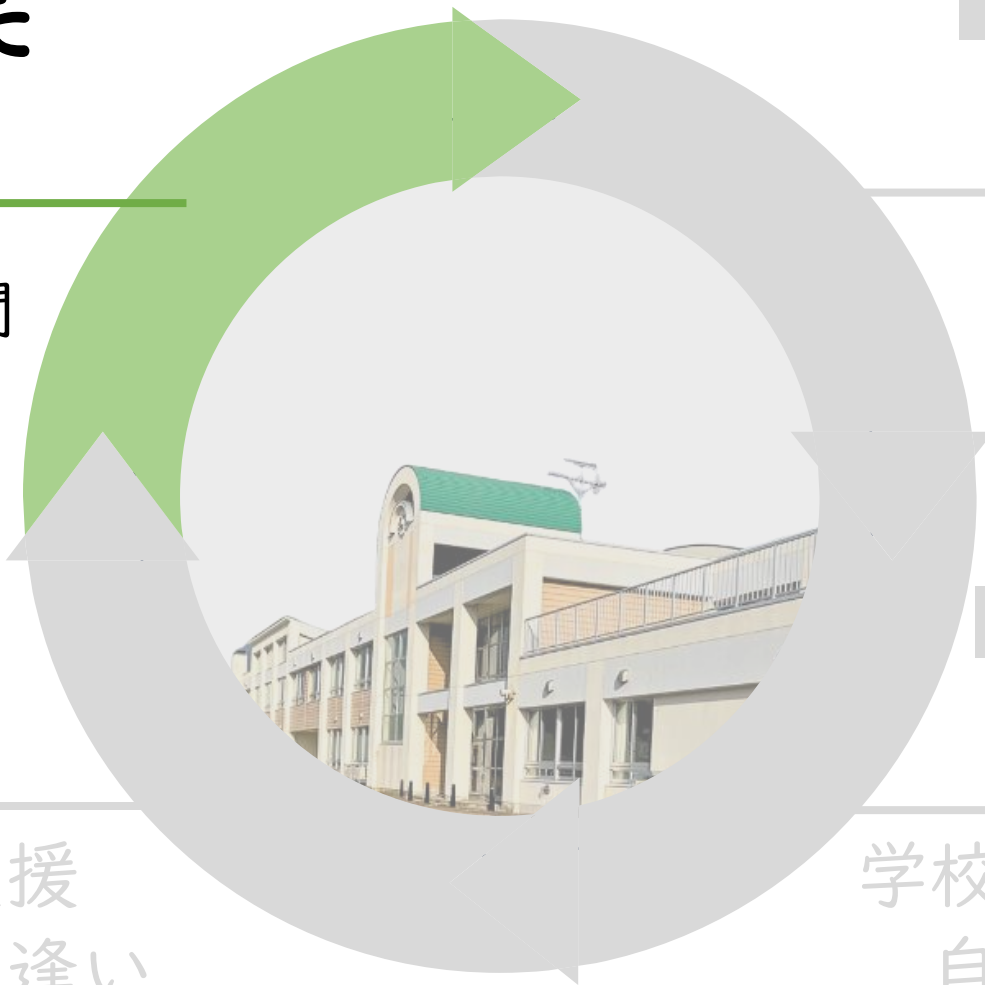
こどもをみんなで支援
多様な価値観との出逢い

■ ゆったりとした 登下校時刻

9:30出校 15:00下校
元在籍校の児童生徒と
鉢合わせない配慮

■ えらぶ・きめる 学習の場・時間

学校・自宅での学習が可能
自分にあわせた活動時間



本校での学び

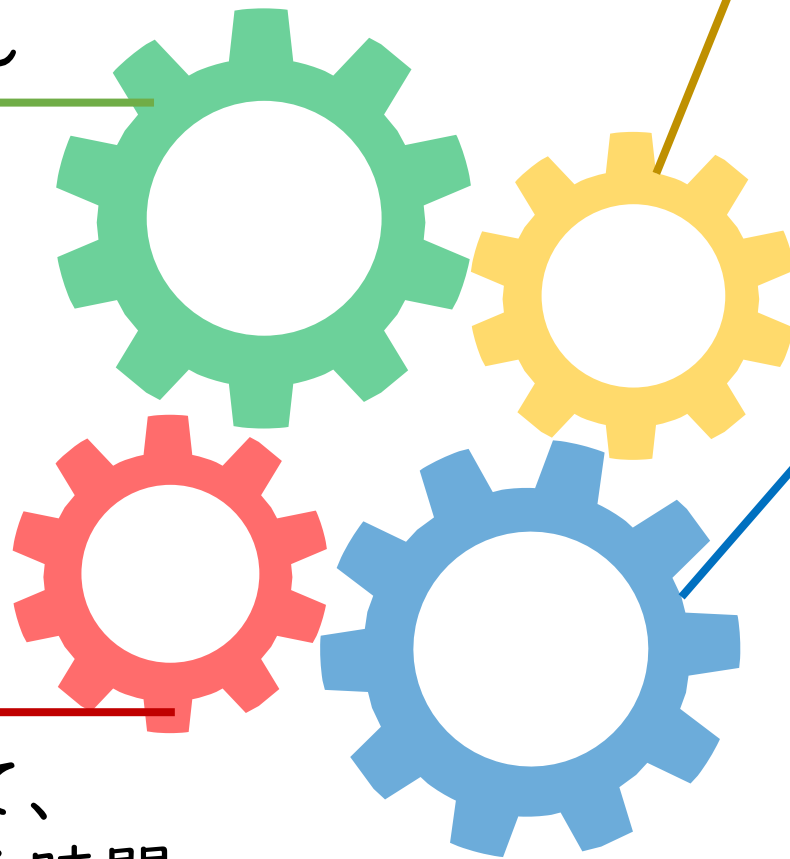
■ まなび・まなびなおし

一人一人の学び方に
あわせた教科の学び
学び直して
振り返る時間の確保

■ きわめる

こどもが問いをたてて、
自分の好きを探究する時間
自分の好き・得意をみかく時間

(参考) 天童市立天童中央小 マイプロジェクト学習



■ つどい・かたり

1日に1回こどもが集い
プログラムをとおして
ソーシャルスキルを育む

■ ものづくり

手や体を動かし
五感をフル使って
ものづくり、創造する
図工、美術、音楽、技術、栽培活動等
を合科

幼児教育の基本「遊び」のアプローチ
生活科、総合学習のテイストを基本とする

本校での学び

■ つどい・かたり

1日に1回子どもが集い
プログラムをとおして
ソーシャルスキルを育む



1日を見通す・えらぶ・きめる



ゆるやかに集う

本校での学び

■ つどい・かたり

1日に1回こどもが集い
プログラムをとおして
ソーシャルスキルを育む



登校後必ず入室

担任と面談し
活動に入る

京都市立洛風中学校 「メープルルーム」

本校での学び

■ ものづくり

手や体を動かし
五感をフルに使って
ものづくり、創造する



好きなことに没頭する【調理】



ものづくりで「できる」を実感

本校での学び

■ ものづくり

手や体を動かし
五感をフルに使って
ものづくり、創造する



岐阜市立草潤中学校
「セルフデザイン」



京都市立洛風中学校
ギブスをつかった作品

本校での学び

自分の好き・得意をみかく時間

こどもが問いをたてて、

■ きわめる (総合的な学習の時間) 自分の好きを探究する時間



自分で選び 自分で決め 自分でやってみる 振り返って「自分」を自覚
自分の「こだわり」を「こだわる」時間

本校での学び

■ きわめる

自分の好き・得意をみかく時間
こどもが問いをたてて、
自分の好きを探究する時間



参考：天童中央小学校「マイプロジェクト学習（個別探究）」

特別の教育課程での学び

一人一人の学び方に
あわせた教科の学び
学び直して
振り返る時間の確保

■ まなび・まなびなおし



少人数での学び 前の学年にさかのぼって学び直しができる時間

教育課程の方針

■ ゆったりとした 授業時数

1015 ▶ 770時間

4時間学習

■ チーム担任制

こどもをみんなで支援
多様な価値観との出逢い

■ ゆったりとした 登下校時刻

9:30出校 15:00下校
元在籍校の児童生徒と
鉢合わせない配慮

■ えらぶ・きめる 学習の場・時間

学校・自宅での学習が可能
自分にあわせた活動時間



チーム担任制



マルチエイジでの活動が主
こどもたちの特性に応じた柔軟な対応

従来の学校

固定担任制

教科担任制



チーム担任制

担任選択制

などを検討

教育課程の方針

■ ゆったりとした 授業時数

1015 ▶ 770時間

4時間学習

■ チーム担任制

こどもをみんなで支援
多様な価値観との出逢い

■ ゆったりとした 登下校時刻

9:30出校 15:00下校
元在籍校の児童生徒と
鉢合わせない配慮

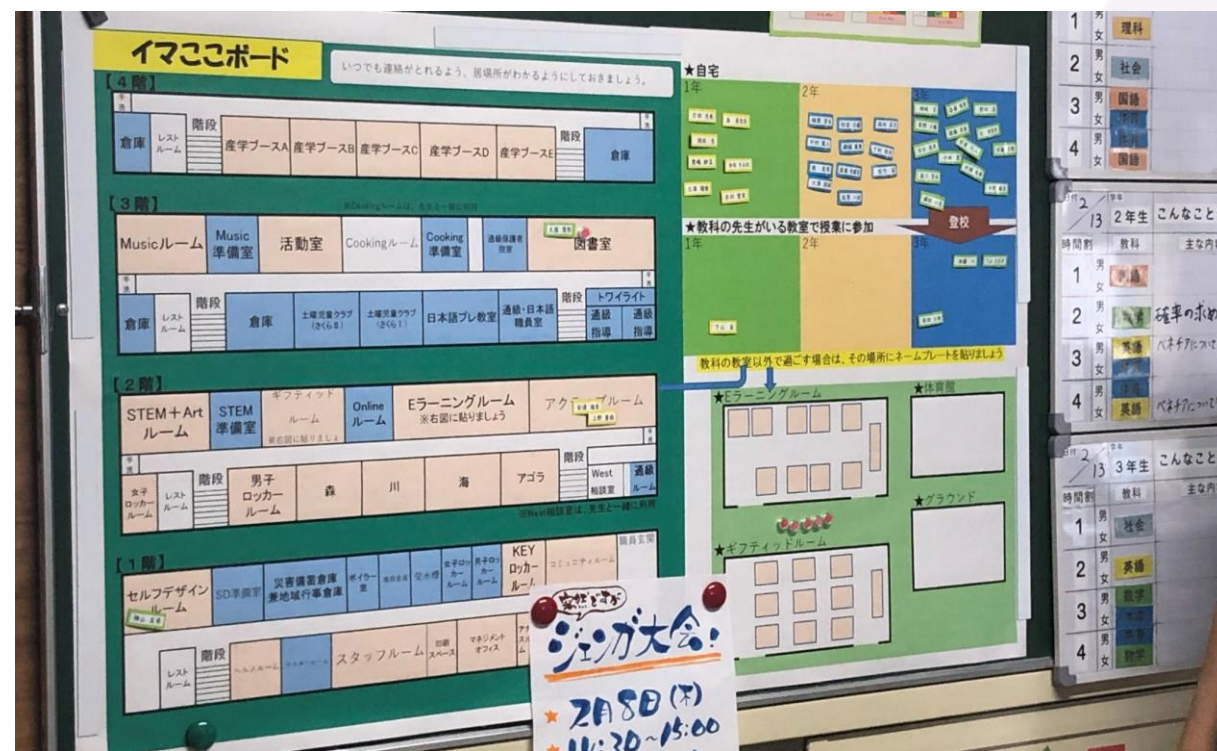
■ えらぶ・きめる 学習の場・時間

学校・自宅での学習が可能
自分にあわせた活動時間



えらぶ・きめる学習の場

学校「観」のパラダイムシフト



欠席 ▶ 家で学ぶ・online
遅刻 ▶ ゆっくり登校

「いまここボード」
自分の居場所を示す

今後の検討事項

制服

校歌

行事

夏休み
冬休み

通学方法

なかよし会

P T A

定期
テスト

通信票

指導要録

決定のプロセス

制服・校歌・行事なしのスタート

児童生徒の
「声」
必要感

児童生徒
保護者
教職員との
対話
合意形成

校歌

制服

行事

転入学について

Topic 3

転入学までの基本的な流れ

小・中学校



不登校支援の実施

保護者との面談

在籍校から教委へ連絡

教育支援センター

おつ市教育委員会



本人・保護者との面談
体験入学（1～2週間）

通学意思の確認

就学委員会の実施・判断

学びの多様化学校



学びの多様化学校への
転学

入学・転学の対象者（案）

むつ市在住の小学校1学年～中学校3学年児童生徒

※区域外就学については、検討が必要（ご意見をいただきたい）

不登校状態もしくは不登校傾向にあること

病気や経済的な理由を除いた年間30日以上の欠席もしくは不登校傾向にあるまたは不登校になる恐れが認められる者

児童生徒・保護者両方に入学・転学の意欲がある

上記3条件を満たした児童生徒を就学委員会で審議する

学びの多様化学校のハード面について

Topic 4

先進校の例

ろりぽっぷ学園（仙台市）



図書館をセンターに
イエナプランを具現化



カウンセリングルーム
安心安全の基地



保護者待合室の設置

これまでの学校と明確に区別する

先進校の例

草潤中学校（岐阜市）



学校図書館を
リラックスできる空間に



校長室も
こどもの居場所の一つ



ゆるやかに集う仕掛け

徹底的に「（古典的な）学校らしさ」を見直す

先進校の例

白石きぼう学園（白石市）



図書館も居場所に



相談室をこどもの発想で
レイアウト



保健室では
さらに安心感を

こどもとつくりあげる学校をめざす

持続可能な学校運営のために

Topic 5

持続可能な「学びの多様化学校」運営のために



白石きぼう学園
「白石みらい教育基金」



(株) ブックオフとの協定
まんが本の寄贈

基金の設立・寄付

(仮) むつ市みらい教育基金

学びの多様化学校に係る
設備投資、備品購入、人的対応

不登校支援の充実に必要な
財源に充当

校内教育支援センターの環境整備

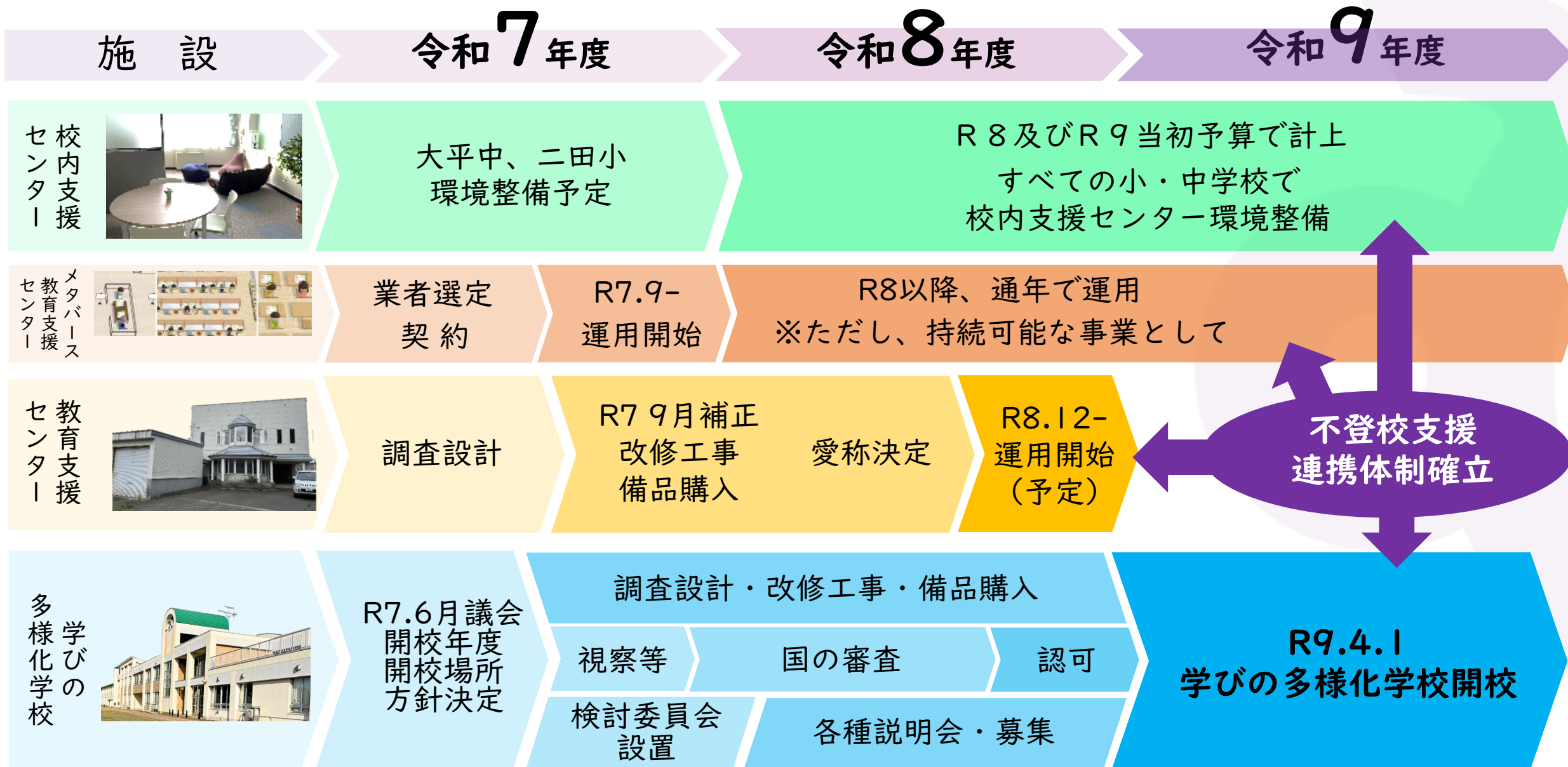
物品の寄附の受け入れ



教育支援センターには、市民のみなさまからご寄付いただいております

今後について

学びの多様化学校設置までのスケジュール



検討委員会スケジュール

令和7年度

第2回 9～10月開催予定

- 第1回検討委員会でいただいた意見を反映させた教育課程方針の検討
- 各種説明会に向けて（住民・転入学希望者・教職員）

第3回 12月開催予定

- 教育課程について（文部科学省への書類提出）

検討委員会スケジュール

令和
8
年度

第1回

校名、各種説明会について

第2回

就学委員会の状況

第3回

受入人数、転入学者（第1期生）、入学式
開校後のスケジュール





ご協議
お願いいたします



教育支援センターHP



おつ市教育委員会事務局